弘前YEG

轍 vol.78 ―わだち―

2023.3.15

発行所／弘前商工会議所青年部　弘前市上鞘師町18-1（弘前商工会議所内）TEL:0172-33-4111　発行人／奈良　第司　編集／固い絆委員会

令和３年度会長
奈良 第司

会長挨拶

私たち青年部とは、どうあるべきか。何をもって行動し、誰のために何のために存在するのか。このコロナ禍に於いて地域経済発展のために何が必要なのか。必死にその答えを求めてきた2年間だった様に思う。商工会議所青年部の英語表記の頭文字からなる‘YEG‘とは、若さ、情熱、広い視野をもった経営者という意味も込められている。若さとは、若者の特権であり、若者の特権とは根拠のない自信。情熱とは物事を突き動かす熱い思い。広い視野を持つというのは、人生の振り幅、だと私は思う。その振り幅が大きければ大きい程、人を成長させてくれる。YEGとは、その人生の振り幅を大きくさせてくれることによる自社の発展、地域の経済的発展へ寄与すべく、商工会議所の一翼を担う組織なのだということを念頭に置いて行動してきた。平成元年から続く弘前商工会議所青年部の創始の精神を燈々無尽に思いを紡ぎ、もう間もなく次年度へと灯りを灯す瞬間を今まさに迎えようとしている。私が会長職をお預かりするにあたり「創造するYEG」という言葉を掲げた。その意味は様々な観点から物事を多角的に捉え、新しい時代へと移り変わろうとしている今だからこそ、地域に求められている事と自分たちが進むべき道、そして何より次代への先導者たる気概で進むための指針である、そう考え旗幟に掲げた。今を力強く生きるために、大いに根拠のない自信を持ち、夢へと挑戦し続ける熱い情熱を持ち、人生の振り幅の中で絶えず悩み、答えを探して前へと突き進む。命の原動力は過去ではなく未来にある。地域のため、豊かで住みよい郷土を築くため、子どもたちの未来が明るいものであるために私たちは日々汗をかき、走り続けている。情熱を燃やして笑顔溌溂に、新しい時代を創るのは私たちなのだ、という誇りを胸に抱き「変化への挑戦」を恐れることなく突き進む。その行動こそが私たちに大切な責務なのだから。さあ一緒に新たなるココロオドル未来へ。

令和3･4年度 事業年表

3月9日	令和4年度 卒業式
3月9日	令和4年度 第3回臨時総会
2月25日 26日	SONDO
12日	弘前雪灯籠まつり
2月10日～	弘前スポーツチャンプ決定戦
1月14日	令和5年
12月8日	令和4年度 第2回臨時総会
11月5日	第15回青森県連大会会員大会
10月16日	めざせ全国！eスポーツ体験会
10月15～16日	
10月14日～	2022 津軽の食と産業まつり
9月18日	第一回HIROSAKI MUSIC FESTIVAL 2022 音はだり
9月11日	つがる大判かるた大会
9月8日	令和4年度 第1回臨時総会
8月30日	弘前ねぶた300年祭133体の金魚ねぶた展示
7月29日	プロ野球一軍戦　楽天VSソフトバンク
7月5日	郷土を知る～金魚ねぶた作り体験
5月12日	令和4年度 通常総会
4月12日	ひろさき共生社会創造トライアル事業 t e c o c a 開始
4月	令和3年度 第2回臨時総会
3月3日	
令和4年	
26日	弘前YEG杯　eスポーツ体験会
12月25～	地域共生フォーラム「ひろさきの未来(あす)を語ろう！」
12月12日	Th e 津軽味三味
11月14日	
11月13日～	
11月27日	
11月3日～	Th e 津軽三味線2021「街角ライブ」
9月30日	令和3年度 第1回臨時総会
9月18日	第一回HIROFES 2021 HIROSAKI MUSIC FESTIVAL
9月4日	『希望の光』プロジェクト
8月18日	弘前JC&弘前YEG交流会
4月8日	令和3年度通常総会
令和3年	

それぞれの「オモイ」×「オモイ」

令和3・4年度会長 奈良 第司

令和5・6年度会長 中村 好孝

私がＹＥＧに入ってかれこれ二十年くらいになります。私の会社はりんご業界なのですが、当時の上司から、この業界だけでなく異業種の人の話を聞くのも勉強だといわれ、異業種が集まる団体を探して選んだのがＹＥＧでした。入会して色んな方と知り合え、ビジネスとか関係なく本当に仲が良くなってしまう方も多く、人付き合いが大変楽しい会だなと思いました。大変な事業も（みんなと一緒なら）笑いながら取り組めるというのはこの団体の魅力だと思います。私にとって青年部活動はライフワークであり、自分の人生を豊かにしてくれた団体です。

青年部は、まずは所属する会員のためになるような会にしていきたいと思っていますし、それに加えて地域のためにもやっていければと思います。

私は強いリーダーシップがあるわけではないし、土台からみんなを支えることができるような器量もないかもしれませんが、みんなと一緒に手をとって、横一列で進んで行くことはできると思います。

奈良会長、二年間お疲れ様でした。

時を共にすることが多く、週末に何度も県内外ご一緒することがあったのですが、そのたびに居酒屋をやられているのに、お店大丈夫かなと思ったこともあるのですが、それだけ覚悟を持ってやってらっしゃるんだなと。その覚悟を、私も覚悟をもって引き継いでいきます。

青年部は色んな活動があるんですけど、みんなが自社発展と地域経済発展、その両輪を上手くバランス取りながら活動しています。特に「地域経済を動かすのは自分たちなんだ」という強い気概が感じられるのがいいなと思う。一つの事業を行うときにそこにかける情熱、それが集まったときの力…組織としての力が集結されたときが非常に面白いし、魅力を感じます。ただ、今はコロナ禍の影響で地方は経済も冷え込んでいるし。きっと自分の考え方も少しずつ変わってきていて。ちょっと前までは「とりあえずやってみよう」という精神があったけれども、今はコミュニケーション一つとっても難しい時代ですよね。私自身若い時より一歩踏み出すのが難しい。失敗しながら学ぶことでも先回りして回避しようとする。お利口で大人しくするのではなく、青年らしく心にあるものを素直に出せる…熱く弾けるものがある団体になればいいなと思います。

また、仲間と友達って違うものがあって。同じものを目指すのが仲間だとすれば「友達」っていうのは、そういうのは関係なく無条件に言い合えるものだと。青年部は仲間から友達に変われる組織だと思うんです。商売を通じてという入り口から、その垣根を取り払って一生涯の友達になれる場…その環境づくり、一歩を踏み出すことができる会づくりを来年度からお手伝いできればと思います。中村次年度はおそらく良い人なので、心配していません（笑）

それぞれの覚悟

自分にできることがあるのなら
すべてを投げうってでも
やらねばならないときもある

まずは会員のために
笑顔で横一直線
肩を並べて歩いていきたい

Yoshitaka Nakamura

1978年４月１日生まれ　AB型　おひつじ座
食品・農産物部会
りんご生産、卸、小売
趣味　みんなとお酒を飲むこと、スポーツ全般
悩み　体重が増える一方

【弘前商工会議所青年部　経歴】
平成15年度　入会
平成21年度　弘前YEG観光委員会委員長（平成21年度・22年度）
平成22年度　青森県連YEG出向観光委員会委員長（弘前YEGより出向）
平成23年度　弘前YEGビジョン推進委員会委員長（平成23年度・24年度）
平成27年度　弘前YEG総務委員会委員長（平成27年度・28年度）
平成29年度　弘前YEGリアリティ再生委員会担当副会長（平成29年度・30年度）
平成31年度　弘前YEG事務局長（平成31年度・令和２年度）
令和３年度　弘前YEG固い絆委員会担当副会長（令和３年度・４年度）
青森県連YEG出向アオモリ研修交流委員会委員長（弘前YEGより出向）
令和４年度　日本YEG出向　青森県連代表理事

Daiji Nara

1971年８月25日生まれ　A型　乙女座
料飲観光部会　飲食業
趣味　ドラム、ギター、Live、バンド、犬の散歩、犬と寝る
特技　味見
悩み　犬に吠えられる

【弘前商工会議所青年部　経歴】
平成23年　清藤崇先輩会長時、青年部楽しそうだな、と思い始める。
平成24年　青年部楽しそうだな、と思ってきた。
平成25年　いよいよ青年部に入会。ワクワクしている。
平成26年　時々例会に出る。この時初めて青年部の皆さんの前で長演を披露。
平成27年　そんな私が副会長に。。。
平成28年　長渕ふたたび。卒業式で乾杯、涙の大合唱。この頃から卒業式で歌い始める。
平成29年　ふたたび副会長。少し偉ぶってみる。
平成30年　偉ぶったのを反省する。少しずつ青年部が楽しくなってきた。
令和元年　あんまり楽しくないかもしれない、と思い始める。
令和２年　コロナにより状況が一変。みんなと会えない日々がつらかった。

さくらの窓口委員会

令和4年4月12日(火)ホテルニューキャッスルにて通常が総会開催されました。本人・委任状出席83名により総会は成立し、全ての審議が満場一致で可決されました。
新型コロナウイルス感染拡大予防対策を実施し、皆様のご協力のおかげで総会内容すべて滞りなく行うことができました。
また、昨年度に行われる予定だったアテンダンスポイント表彰式を同日開催しました。部門毎に表彰を行い、YEG活動活性化の気運を高めることができたと思います。
アテンダンスポイントとは、例会等の事業に参加することにより、項目ごとに決められた点数を付与し、点数の高い会員や委員会を表彰することによって、会員の意欲と出席率を上げ活動を活発にするために前年度から始まった事業です。令和3年度・4年度の2年間、一緒に活動していただきました委員の皆様、誠にありがとうございました。そして、成田専務理事、池田事務局長、小林副委員長には沢山支えていただきまして本当に感謝申し上げます。
ありがとうございました。

【さくらの窓口委員会】熊谷さくら

固い絆委員会

固い絆委員会は、昨年に引き続き例会の企画・運営を担当しております。本年度も、パラスポーツ体験やりんごもぎ、新制度に関する研修など、様々な例会を開催しました。中でも、5月例会「～郷土を知ろう～金魚ねぷた作り体験」では、例会をきっかけに弘前ねぷた300年祭応援事業を立ち上げ、会員数分133体の金魚ねぷたを使った色とりどりの特製モニュメントを製作。
夏季約1か月にわたり弘前駅改札前に展示し、駅を訪れるたくさんの市民や観光客の皆様に可愛がっていただくことができました。２年間、共に汗を流してくれた委員会の皆様、例会にご参加いただきました皆様、ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

【固い絆委員会】古賀知世

弘前LOVERS委員会

令和4年度、弘前LOVERS委員会では弘前の魅力発掘事業として2つの事業を行いました。
１つ目は「つがる大判かるた大会」と称し、その事業目的は子どもたちの弘前に対する郷土愛醸成のきっかけ作りでした。かるたの題材は弘前の歴史的建造物や文化に関連した内容で、当委員会で作成したその大判かるたのサイズは縦90㎝、横60㎝であり、まさに「つがる大判かるた」を表現できた。
参加した子どもたちは、体育館に広がったかるたを汗を流しながら一生懸命走り回って探し、かるたを終えた子供達からは、「弘前にこんな郷土料理があるなんて知らなかった！」「あの建物ってどこにあるんですか？」などといった、弘前に対する興味の芽生えとも言える声が挙がり、事業目的に対する成果を感じることができました。

【弘前ＬＯＶＥＳ委員会】
大井康敬

食と産業まつり

コロナ感染拡大防止の為に中止となってから３年ぶりとなる津軽の食と産業まつりは開催２０回目の節目の年で、感染拡大防止対策と２０回記念イベントを同時に行う大変難しいまつりでした。
何回も会議をかさね、今年はすべて屋外にして運動公園全体を使って行い、感染拡大防止対策（手の消毒・検温）を各出入口で実施し、２０回記念イベンとして、リアル野球盤（弘前アレッズさん）、サッカーフェスティバル（ブランデュー弘前さん）、eスポーツ体験会（弘前商工会議所青年部地域の絆委員会）などのスポーツイベントやスタンプラリーを実施しました。コロナ渦の開催は大変不安がありましたが、まつり本番を迎えて3日間終わってみれば出展者８３事業所に参加して頂き、来場者数は約59,000人と前回（3年前）と比べて若干増え大盛況で終わる事が出来ました。青年部メンバー及び関係スタッフの皆様ご協力いただきましてありがとうございました。

津軽の食と産業まつり実行委員長
石田卓也

地域の絆委員会

地域の絆委員会では、国体採用種目にも採用されている、「ｅスポーツ」に着目し、地域経済活性化を目的に、体験会を開催しました。今回、津軽の食と産業まつり特設会場にて、弘前東高等学校ｅスポーツ同好会に協力頂き、ルールや操作方法のレクチャー後、対戦形式で体験してもらいました。
慣れないキーボード操作に苦戦しながらも、一生懸命に操作し、親子一緒に楽しんで頂きました。
「テレビゲーム」と「ｅスポーツ」の違いは、簡単には理解し難いかもしれませんが、得点を入れた瞬間は、会場内が歓喜に沸き、リアルにスポーツ観戦をしている感覚になりました。「ゲーム遊び」とひとくくりにされがちかもしれませんが、「ｅスポーツ」と言う新しい文化を少しですが、伝えることが出来たと思います。

【地域の絆委員会】三浦博美

プロジェクトY委員会

第2回目となりましたHIROSAKI MUSIC Festival音はだり２０２２は、昨年に引き続きYouTube等にて配信を行いながら、中心市街地に2会場を設けて、有観客にて一般コンテスト形式及び地元アーティストライブの2部制音楽フェスとして開催致しました。
多くの来場者・配信閲覧者を得られ、この音楽事業を通して地域への愛着や活力への一助となれたのではと考えております。
【プロジェクトY委員会】川嶋貴裕

弘前LOVERS委員会

２つ目は「弘前スポーツチャンプ決定戦」と称し、その事業目的は『弘前では見かけないスポーツ種目で、楽しみながら体を動かしてほしい』という想いから、ストラックアウト、モルック、バランス綱引きといった３種目を選定し、大会開催へ臨みました。特にストラックアウトとモルックにおいて、子どもたちが夢中になって競技に取り組む姿が顕著に見受けられ、そこには私たちが思う『元気な子ども』の姿を、時間いっぱいに感じることができました。
両事業の参加者からは、また参加したいという声をいただき、次年度以降も是非継続してもらいたいと思えるほど、充実した事業であったと感じました。

【弘前ＬＯＶＥＳ委員会】
大井康敬

古都ひろさき花火の集い

令和4年6月18日、第15回古都ひろさき花火の集いが3年ぶりに岩木川河川敷運動公園に開催することができました。今年度は感染対策を徹底しての開催となり、いつも通りの開催には程遠い部分もありましたが、会場には、12,000人もの来場者をお迎えし開催する事ができました。３年ぶりの開催となった今年から花火のコンセプトも例年に比べ変化を加え、また、ステージイベントを無くした事により、座席がその分、前に行ったことで、より花火の臨場感を味わって頂く事ができたのではないでしょうか。来場者が一つになり打ち上がる花火。その花火の力を信じて、令和4年度は何としても皆さんの目の前で花火を打ち上げる。この一心で準備を進め、感染対策にもこれまでに以上にご理解とご協力を頂いたことを感謝を申し上げます。多くのメンバーに支えられ、多くのご支援を頂きました事誠にありがとうございました。

ひろさき市民花火の集い実行委員会
会長　佐々木　裕和

ビーバップ委員会

当委員会では、「人と人」、「人と街」とが共生する持続可能なまちの実現に向けて令和４年８月８日より「Ｔｅｃｏｃａ」をスタートしました。「助け合い」×「域内経済循環」に地域ＤＸの視点を加えたシステムとして、人口減少・少子高齢化の進展から急激に変容する諸課題解決に向けたより良い弘前を想像する事を目指しております。
ＰＲイベントしてカルチュアロード、津軽の食と産業まつりでＰＲブースを設け市民に広くアピールしてきました。これからも市民に寄り添ったシステムとして発展させていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。
【ビーバップ委員会】奈良俊雄

まつり委員会

津軽の食と産業まつり実行委員会の主担当委員会として、令和4年10月14日（金）15日（土）、16日（日）に、弘前市運動公園屋外エリアにおきまして、「2022津軽の食と産業まつり」を開催致しました。3年ぶりの開催となった今回は20回記念として規模を例年より拡大し、86の企業・団体にブース出展して頂き、屋外ステージイベントやスポーツイベント、スタンプラリーなど新たな催しも行いました。3日間とも晴天に恵まれ、多くの方にご来場頂き、事故も無く滞りなく終了致しました。地域経済の活性化へとつながったことと思い、ご協力頂きました全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。
【まつり委員会】葛西晋

弘前圏域発！
地域の助け合いのしくみ

Tecoca
ひろさき共生ポイント

人と人が助け合う。助けて欲しい人がTecocaを払い、助けた人にTecocaが付与されます。助け合うことで地域の思いやりが増えていくきっかけを作っていきます。

新入会員大募集!!

弘前商工会議所青年部（弘前YEG）は地域を盛り上げるイベントを実施したり、自己研鑽のための研修を行ったり、また約130名の幅広い業種の会員とビジネスでつながるチャンスがある、若手経営者や各企業推薦の若手社員が集まる団体です。その他にもゴルフやサッカー、ランニング、野球などサークル的な活動もしています。130名の仲間と共に、大好きな弘前を盛り上げていきませんか？興味のある方はぜひお気軽にお問い合わせください！！

＜年会費＞40,000円　＜入会資格＞ホームページをご参照ください。　＜お問い合わせ先＞弘前商工会議所青年部事務局　TEL 0172-33-4111　E-mail mtakahashi@hcci.or.jp